令和元年度　岳下小学校だより　No.１０

1月 だけしたっ子

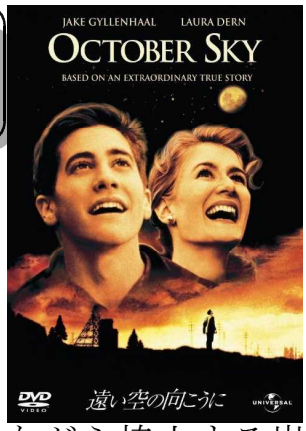
発行責任者　佐藤　聡　　発行日：令和２年１月８日

令和2年のスタートにあたり

新年明けまして、おめでとうございます。穏やかなお正月をご家族皆様でお過ごしになったことと思います。岳下小学校では、おかげさまで冬休み中に大きな事故やケガもなく過ごすことができました。これも、保護者の皆様をはじめ地域の皆様のご協力のおかげと思います。改めて感謝申し上げます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

映画： 遠い空の向こうに

October Sky（邦題：遠い空の向こうに)」



以前、ＷＯＷＯＷで「遠い空の向こうに」が放送されました。これは、アメリカ合衆国のある炭鉱町に生まれ育った高校生の実話に基づく物語です。

ある日、ソ連から人類初の人工衛星（スプートニク）が打ち上げられました。それを本土（アメリカ）から眺めたことがきっかけとなり､彼らはロケット作りに挑戦します。

４人の夢を信じ支え続けた教師たち。ロケット製作に陰ながら協力する炭鉱の男たち。様々な困難に直面しながらも、一つ一つそれらを乗り越え、ついに、彼らは全米科学技術コンテストで優勝し、大学へ行くための奨学金を勝ち取ります。そして、大学卒業後は、それぞれが目指す職業人として自立します。(その内の一人は、NASA の技術者となりました。)

未来を担う子どもたちに、一押しの作品です。（ＤＶＤ作品あり）

子どもたちの脳の発達について

人間の脳は３歳から４歳までに、成人の９０％以上の重さまで成長し、その成長には「大切な時期」があると考えられています。

「大切な時期」に外界からの「適切な刺激」を受けないと、たとえそれ以降にたくさん刺激を与えても脳はきちんと発達しないのだそうです。

では、家庭教育において、子どもたちの脳を健全に育むためには、何をすればいいでしょうか。「親子のふれあい」が一番と言われてます。たとえば、言葉での刺激や体の触れ合い、一緒に自然体験や社会体験をすることが大切だと言われています。

また、長時間のテレビやビデオなどのメディアとの接触が、子どもたちの脳の発達にあまり良い影響を与えていないという研究もあります。子どもたちの脳の発達が著しい時期には、コミュニケーションが重要な役割を果たします。

未来を担う子どもたちの育成のために、メディアの有効活用について、共に考えていきませんか。